

第2640地区

創立 昭和26年(1951)2月16日
 例会日 毎週木曜日12:30
 例会場 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺3F
 TEL (072) 224-1121
 事務所 〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺8F
 TEL (072) 238-3250
 FAX (072) 232-3711
 会長 ~~近森裕子~~ 福井隆一郎
 幹事 谷村大助
 会報担当 黒川真男



世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

2023-24年度国際ロータリー会長
ゴードンR.マッキナリー

四
つ
の
テ
ス
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://www.rid2640g.com/tani/>

本日の例会

第3492回例会 (14)2023年10月12日

- 例会ソング 「奉仕の理想」
「鉄道唱歌」
- 今月の記念日のお祝い
- 卓話
「健康増進型保険の
取組みについて」
- スピーカー 宮武浩介会員

前週の例会

第3491回例会 (13)2023年10月5日

- 例会ソング 「四つのテスト」
「君が代」
- 卓話 「私の卓話」
- スピーカー 米山奨学生
伊力亜 艾山さん
(イリア アイシャン)

次週の例会

第3493回例会 (15)2023年10月19日

- 今月の皆出席のお祝い
- 卓話
「日米投資環境について」
- スピーカー 矢野貴広会員



紹介者 石崎米山奨学委員長
 出席報告 会員 28名
 ZOOM 1名
 ゲスト 1名
 ZOOM 中田佐和彦会員
 ゲスト 米山奨学生 伊力亜艾山さん

出席率 82.61% (9月14日)

行事

○今月のお誕生日のお祝い

会員代表 西座新二会員



夫人代表 林 豊之会員



○黒川眞男会員より、米山記念奨学会へ3万円ご寄付頂きました。

○樂木宏実会員より、米山記念奨学会へ1万円ご寄付頂きました。

会長の時間

○会長のお話 「富士登山競争」



○本日のゲストの方へ来会お礼。

幹事報告

○本日の開催行事

- ・プログラム委員会 12時～
- ・第4回定例理事役員会 例会後～

○本日の配布物

- ・ガバナー月信10月号(卓上)
- ・ロータリーの友10月号とおすすめピックアップ
- ・米山記念奨学事業「豆辞典」
- ・米山奨学会寄付金納入明細総合表(卓上)

○連絡事項

- ・例会の食数の参考に致しますので、次週以降の例会で欠席がわかっている方は、火曜日までにご連絡を下さい。お帰りの際は出席版に黄色のシールを貼っておいて下さい。ホームページの会員ページよりのご連絡宜しくお願い致します。

委員長報告

- 鹿毛親睦活動委員長より、観月会のお礼。
- 石崎米山奨学委員長より、米山記念奨学月間についてのご説明とご寄付のお願い。

ニコニコ報告

- 西座新二会員より、誕生日のお祝いに感謝。
- 林豊之会員より、家内の誕生日のお祝いを有難うございます。昨日が誕生日でリッチな夕食でお祝いしました。
- 高橋明会員より、妻の誕生日祝い有難うございます。古希を過ぎましたが「亭主元気で留守がいい」とうそぶき元気に水泳を楽しんでいます。ちなみ亭主は「カナヅチ」です。
- 徳丸武史会員より、先週卓話スピーカーを経験させていただきました。有難うございます。
- 樋口正憲会員より、申し訳ないですが遅刻します。

以上それぞれニコニコ箱へご寄付頂きました。ありがとうございました。

ニコニコ箱	5件	25,000円
累計		247,000円

第4回定例理事役員会議事録

日時 2023年10月5日(木) 例会後～
 場所 ホテル・アゴーラリージェンシー
 大阪堺 8階 事務局
 出席者 福井・林・石崎・佐野・神山
 東野・信田・倉・奥中・尾関
 谷村・辻本・鹿毛 (敬称略)

I. 議案

1. 地区大会選挙人選任の件
 東野会長代理、谷村幹事の2名を選挙人とする。 承認
2. 次期理事役員指名委員会報告の件
 次々期会長に木澤会員を指名。 承認
3. 入会候補者審査の件
 I氏 1回目。 承認
4. その他
 - ・11月16日、12月7日は軽食例会。
 - ・11月16日開催の社会奉仕フォーラムは、テーブル毎の意見交換として後日報告書を作成し配布する。30分の時間延長はしない。 承認

II. 報告事項

1. 堺RC9月度収支報告
 資料添付
2. 堺7RC連絡会9月度報告
 資料添付

今月の記念日

山中	諄会員、	かずえさん	(3日)
高田	恭伸会員、	美果さん	(10日)
高橋	明会員、	和子さん	(16日)
甘崎	哲章会員、	光江さん	(20日)
中田	佐和彦会員、	和子さん	(22日)
鹿毛	靖会員、	雅世さん	(22日)
福井	隆一郎会員、	裕子さん	(25日)
東野	裕暢会員、	美咲さん	(27日)
田端	芝蘭会員、		(25日)

卓話

『司馬作品を未来へ』(1)



(公財) 司馬遼太郎記念財団 理事長
 司馬遼太郎記念館 館長 上村洋行
 司馬遼太郎は1923(大正12年)8月7日の生まれですから、今年、生誕100年になります。そのことを考えると、さまざまなことが浮かんできました。

記念館業務に携わって20年余りになりますが、その間、いろんな職種の方から司馬作品の感想を聞きました。その感想はいくつかに集約されることに気がきました。

「50年、60年前に書かれていながら昨日今日出版されたような鮮度を感じる」「何度も読み返している」「若いころに読んだときと、高齢になって読み返したときの印象が違った」「年齢に応じて新たに気づくことがあり、司馬さんからメッセージを受け取っているようだ」

没後27年、今なお読んでくださる読者がいる。そう思うと、司馬作品はこれから未来に向けて読み継がれていくのだろうか、という連想が広がりました。

昨年の秋、「私の好きな司馬作品」を尋ねるアンケート調査をネットでしました。

1557件の回答がありました。多くは中高年でしたが、小学4年生の女儿から95歳の男性まで幅広く、『坂の上の雲』『竜馬がゆく』『燃えよ剣』『街道をゆく』『峠』が上位5作でした。

私がうれしく思ったのは、自由回答欄でした。好きな作品だけを挙げてもらえればいいと思っていましたから、お書きになれるのはそう多くない、と思っていました。

ところが、8割もの方が、それも熱心に多くの言葉を費やして書いてくださいました。

実はこのアンケートでも先ほど話しました司馬作品の感想と同じような結果が出ましたし、はじめて司馬作品を読んだ年齢は、10代、20代と答えた方が6割、そして8割近くが読み返すという答えでした。

司馬遼太郎はいつごろ、新聞記者から作家の道を歩みはじめたのか、と考えてみますと、1955（昭和30）年ということになります。

戦後10年、もはや戦後ではない、と言われ、電気洗濯機、電気冷蔵庫、テレビの三種の神器と若者にはマンボスタイル、サラリーマン社会が大きく広がり通勤電車が超満員になる、といった時代です。

この年、本名から筆名にかわる2つの作品が生まれました。まず、9月に産経新聞の記者として本名で「名言随筆サラリーマン」を出版しました。

論語や古今東西の格言といったものを重ねてサラリーマン世相を見据えた作品です。32歳。すでに作家司馬遼太郎が行間からにじみ出ている、今、読み返すとその時代から現在を見据えているように感じました。

この本はその後、『ビジネスエリートの新論語』として再版、さらに2016（平成28年）に『ビジネスエリートの新論語』として文藝春秋から文春親書として復刊されました。

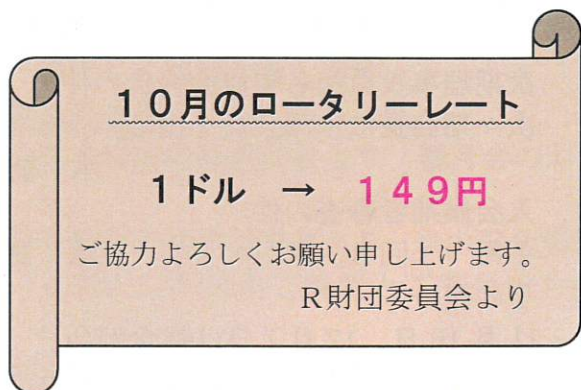
この2ヶ月後の11月、日本人が一人も出てこない『ペルシャの幻術師』という作品を書きました。ペルシャの姫を巡ってモンゴルの将軍と幻術師の闘いを描いたロマンあふれる幻想小説です。この小説は講談倶楽部賞の応募に投函するため、締め切り直前に司馬遼太郎というペンネームで出したものでした。翌年、講談倶楽部賞をとり、雑誌に掲載されました。

筆者はこのころ、他でも使いましたが賞

をとり、はじめて筆名が広く伝わって、作家をめざす覚悟を決めた作品でもありません。（つづく）

ローターアクトクラブ例会のお知らせ

第2例会10月15日（日）10:00～
堺まつりチャリティーバザー
於：紀陽銀行堺支店駐車場
青少年アクト委員会より



10月のロータリーレート

1ドル → 149円

ご協力よろしくお願い申し上げます。
R財団委員会より

他クラブ例会変更のお知らせ

堺東RCの例会
10月31日（火）の例会は同日18時～
於：和献洋彩にんにん堺東駅前本店
堺おおいずみRC
10月25日（水）の例会は 21日（土）
創立39周年記念例会
於：ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺
11月15日（水）の例会は 12日（日）
地区大会
於：スターゲイトホテル関西エアポート
11月22日（水）の例会は 休会
（定款第7条第1節により）

★堺RCは、11月9日（木）の例会を
11月12日（日）に開催されます地区
大会に例会変更しております。
お昼の例会はございませんので、お間違
いのないようお願い致します。